青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会 ボウリング競技実施要領

1 競技規則

令和8（2026）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 競技の方法は、デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技は、すべてスクラッチ2ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。
※順位決定の際、同点の成績の場合は規定に基づきゲームローハイにて決定する。
- (3) 原則として、ゲームは1ボックス（2レーン）8名までとし、1フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う2つのレーンで10分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定機を使用する。
- (7) オートマチックスコアラー操作及び個人記録カードの記入は、すべて競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、すべての競技役員の指示で行う。

3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をするうえで支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

4 招集

- (1) 受付後、指定されたボックスに招集し、開始式の開始10分前に完了する。
- (2) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

6 その他

- (1) 選手は、競技中ボウラースエリアを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (2) 選手以外にボウラースエリアへ入ることができる者は、競技役員、競技補助員のほか、各選手団の監督またはコーチ（各選手団、ADカードを付けた1名のみ）とする。各選手団の監督またはコーチが立ち入ることができるエリアは、自チームが競技しているボ

ックスのみとする。

(3) 競技会場のハウスボールおよびハウスシューズを使用しようとする場合は、参加申込書にその旨を記載し、主催者が競技会場において用意する。

ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所の用意し、選手はボウラースベンチ後方の通路で履き替える。

イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後、速やかに元の場所に返却する。

(4) ボウラースエリアに入る際は、必ず屋内シューズを着用すること。

(5) ボールを拭くタオルは、選手自ら用意すること。

(6) 競技上不明な点は、競技本部に問合せること。

(7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途決定すること。